

(別紙5)

整 理 番 号 2024P-111

補 助 事 業 名 2024年度 実践的研究を通じた人間力育成支援活動 補助事業

補助事業者名 三重県立津工業高等学校

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

工業高校生たちがKV-40（乾電池40本で走るEVカー）とゼロハンカー（50ccエンジンを搭載したバギーカー）を製作し、競技会に参加する。自動車の脱ガソリン、EV化へシフトが進んでいる昨今において、2つの車両競技のモノづくりを通して生徒が大きく成長することが期待される。その結果、地域のモノづくりを支える人材育成の一端を担う取り組みとなり、地域に工業高校の取り組みをアピールする絶好の機会となることを期待する。

(2) 実施内容

KV-40（単三充電乾電池40本を動力源としたEVカー）を製作し、7月三重県鈴鹿サーキット開催のEne-1Challenge（写真1）、8月鈴鹿ツインサーキット開催のエコテクノ競技会に参加する。製作するKV-40は木製合板フレームとすることによりモノコック構造としている。



写真1 集合写真1

ゼロハンカー（50ccエンジンを搭載したバギーカー）を製作し、12月に岡山県で開催される第22回全日本高等学校ゼロハンカー大会（写真2）に参加する。ゼロハンカーは鉄パイプの切断、曲げ、溶接から旋盤、フライス盤、塗装、エンジン組立て、電気配線まで工業高校機械科で学ぶ要素が詰まっている。その活動を通して生徒の成長が大いに期待できる取り組みである。



写真2 集合写真2

さらに本事業について年間を通してイベントに参加し、取り組みを広くアピールする。製作に参加した生徒自身が来場者に説明し、成果発表の一端を担う。

2 予想される事業実施効果

- ・実践に近いものづくりを通し、本当のものづくりの楽しさを生徒が実感できる。
- ・仲間たちとのコミュニケーションや連携することの大切さを学ぶことができる。
- ・生徒の思考力、創造力を深めるとともに、技術、技能を高めることができる。
- ・成功体験を通し生徒自身が自信をつけ、意欲を高めることができる。
- ・事業の成果を広くアピールし、さらに発展したモノづくりの展開が期待できる。
- ・製作した車両を展示することで、地域や中学生に工業高校の魅力が発信できる。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

KV-40とゼロハンカー



写真3 KV-40



写真4 ゼロハンカー

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

イベントにて本事業を情報発信した際に使用したポスター

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 三重県立津工業高等学校 (ミエケンリツコウギョウコウトウガクコウ)

住 所 : 〒514-0823

三重県津市半田534

代 表 者 : 校長 加藤 美徳 (カトウ ヨシノリ)

担 当 部 署 : 機械科 (キカイカ)

担 当 者 名 : 教諭 上村 雄二 (ウエムラ ユウジ)

電 話 番 号 : 059-226-2016

F A X : 059-224-8781

E - m a i l : uemura.yu@mxs.mie-c.ed.jp

U R L : <http://www.mie-c.ed.jp/ttu/html/top.htm>